

静岡市立商業高等学校バドミントン部

「己に打ち勝て」

～ 悔し涙を流さぬように ～

部長 石上 智晴

天竜林業高等学校バドミントン部

「目標に向かって」

部長 金田 千明

こんにちは。私たちバドミントン部は1年生5人で活動しています。2年生がいないので、不安になることがよくあります。特に大会では、分からない事が多く、不安も募ります。素早く行動することもなかなかできません。部長としての役割の大切さと責任の重さを痛感しました。そんな中、日々練習に励んでいます。

私たちは全員高校に入って初めてラケットを握った初心者です。引退した3年生のプレーに憧れてバドミントンを始めました。練習をすればするほど上達していることを実感しています。そして、仲間と切磋琢磨しながら強くなろうと思っています。今ではよいライバルもでき、負けないよう努力をしています。また、休みを返上してまで指導して下さる顧問の先生や、卒業したバドミントン部の先輩や、未熟な部長の私についてきてくれる部員には、言葉では言い表せないほど感謝しています。バドミントン部を応援してくださっている方々のため、そして自分達のために、大会で勝ち上がっていけるよう、もっともっと努力を重ね成長していきたいと思っています。そのためには強い人のプレーをよく観察したり、練習試合などで経験を積んでいくことも大事だと思っています。もっと強くなり、先輩方が築きあげてきた、天竜林業高校バドミントン部の歴史に、素晴らしい結果を残したいです。そのために、1つ1つの練習メニューの意味をしっかりと理解し、日々の練習を全力で頑張ります。

夏休み、他校と合同合宿をしました。そこでは部長としても、プレーヤーとしても、大きく成長できたのではないかと思います。このような経験を通じて、他校の生徒との関わりを大切にするとともに、実力もつけていきたいです。天竜林業バドミントン部をよろしくお祈いします。

B



私たちバドミントン部は、3年生が引退した今、1年生8名、2年生6名の計14名で活動しています。

中村先生と深澤コーチによる指導の下、互いに切磋琢磨し、内容の濃い練習をしています。しかし、先日それぞれの思いを以て臨んだ選手権中部地区予選では、練習の成果が出し切れず、悔しい思いをしました。

何名かは県大会出場を手にする事は出来たのですが、体力や技術以外にも気力の面で、まだまだ相手を上回る気迫が足りないことに気づきました。

最後の大会まで半年余りとなった今、己に負けることなく、さらなる鍛錬に励み、忙しい最中、練習や応援に駆けつけてくれた社会人やOBの旁々と共に、念願の「東海大会出場」を手にしたと思います。

そのために、やらなければならないことは多数ありますが、まずは負けない自分作りを行い、相手を上回る気力・体力を養い、一回り大きくなった自分がコートに立てるよう日々の練習に励みたいと思いますので、今後とも、市商バドミントン部を宜しくお祈いします。

スポーツごころを世界に。